



やまぼうし

社会福祉法人 市島福社会
認定こども園いちじまこども園

令和2年3月



こども園HP



〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(電) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>



<教育・保育理念>
受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぽい
じぶんらしく
まっすぐに

昨年5月に元号が改元され、「令和」の新しい時代が幕開けしました。譲位による改元は200年ぶりであるとか、万葉集からの引用は初めてであるとか、発表された当時は様々な話題がマスコミを通じて流されました。しかし、すでに10か月余りが経ち、「令和」はすっかり私たちの生活の中に溶け込んでしまったように感じます。時の移ろいの速さに驚くばかりです。

本園では、今年58名の卒園児をおくりだすことになります。それぞれの個性を發揮しつつ、周りの人と協調しながら、困難に立ち向かい未来を切り拓くたくましい大人へと成長していくことを切に願っています。時代はIT化を猛烈な勢いで進め、この子たちが成人するころには、多くの作業をAIがやってしまっているかもしれません。既に音声を理解することは当たり前になっています。これからは、喜怒哀楽や人間の深層心理まで理解するAIが誕生することになるでしょう。

そのような時代にあっても、決して忘れてほしくないことがあります。

1つ目は、人への尊厳であり、自然に対する畏怖です。もし、私たちがそれらを忘れたとき、人がAIに支配され、自然の脅威に押しつぶされることにもなりかねません。

「じ」挨拶

市島福社会

理事長 西安五月

三月



いちじまこども園では、ムツレ教室を通じて自然と親しみ、自然と共に存していく方法を学んできました。春の風を感じ、夏の日差しに立ち向かい、秋の実りに感謝し、冬の寒さに耐えるそんな心をいつまでも持つて羽ばたいて欲しいと思います。

2つ目は「ふるさとを忘れない心」です。

グローバル化の進展は、どこにいても世界と繋がることができ、可能性を無限に広げることが出来るようになりました。大きな視野を持つて世界に目を向けることは、非常に大切なことです。

しかし、どこにいても、どんな世界で活躍していても、皆さんの土台に「ふるさと丹波」があり、

「ふるさと市島」があることを忘れないでほしいと願います。

さあ、旅立ちの時、
小学校に入学しても、
「はやおき、おひさま、
あさごはん」を忘れずに
に頑張りましょう！

後になりましたが、
皆様のご健勝と、
当園に対します

更なるご支援、
ご協力をお願い申し
上げご挨拶とさせて
いただきます。



倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレーベル」と呼ばれる幼児教育学者、倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさに現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

倉橋惣三の言葉